



[道の駅フォーレなかかわね茶茗館](#)

今年は紅葉が遅く、中には枯れた枝葉も見られると聞き、令和元年11月10日奥大井の様子を見てみようと思ってきました。

千頭駅手前の道の駅「茶茗館」では美味しい川根茶を楽しむことができます。



[千頭駅前](#)



[到着したトーマス号](#)

秋晴れの日曜とあって大井川鉄道千頭駅は親子連れからシニアまで、又県外からの車も多く訪れ、とても賑わっていました。6月から12月1日まで開催されているトーマスフェアの運行日で、到着したトーマス号の写真を撮る人たちでホームも大賑わいです。





[転車台](#)

大井川鉄道が電化70年の記念として、電化初期に走っていたEL列車も10月末から12月末まで走り、駅ではカラフルに並ぶいろいろな車両も楽しみました。駅の隣には聴診器を使って様々な音を体験できる「音戯の郷」ミュージアムもあります。



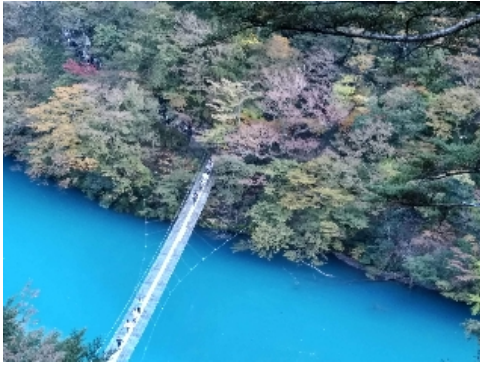
[寸又峡、接阻峡へ向かうアプト式電車](#)



駅周辺に植えられた木々は色づきが増してきてとてもきれいです、周りの山々の紅葉はまだこれからといったところです。



[寸又峡温泉入口](#)



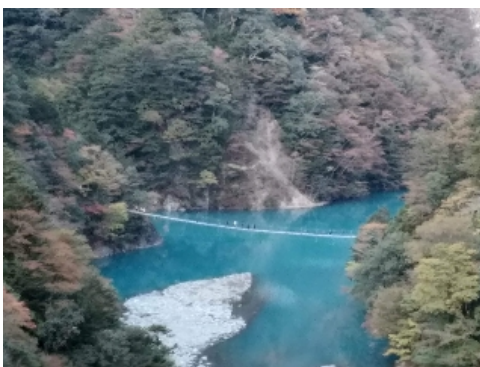
#### [吊り橋の上から](#)

次は千頭駅から更に車で20～30分の寸又峡へ。繁忙期には途中のすれ違いが大変になる箇所を片側交互通行にする為、その分時間が掛かりました。

寸又峡温泉入口の駐車場から吊り橋までは30分ほど歩きます。ここでも山々の紅葉はまだ一部分でした。

吊り橋は階段と坂道を降りた所にありますが、一度に渡れるのは10人なので手前で並んで順番を待ちます。

湖(大間ダム湖)はエメラルドグリーンの美しさ。とても綺麗で最高の日だと係の方が話してくれました。雨の後などは水が混ざり濁ってしまうということなので、この綺麗な湖水の色を堪能したいと思ったら、雨の後数日してから訪れるのが良さそうです。



#### [遊歩道からの吊り橋風景](#)

吊り橋に下りて行く手前には待ち時間が60分程掛かること、又吊り橋は一方通行で、渡った先は急な階段を上るので足腰に不安のある方は遊歩道からの眺めをお勧めする旨の案内がありました。

渡ってみると確かに304段の急な階段が思いの外きつかったので、自信のない方や吊り橋の苦手な方は、案内通り遊歩道沿いから楽しむことをお勧めします。吊り橋と湖の景色は、遊歩道からが一番きれいでした！



#### [吊り橋を渡った先を上った展望台](#)

温泉街のプロムナードには新しいお店も色々あり楽しめますが、日暮れの早い時期ですので是非早めにお出掛け下さい。ちなみにこの日の帰路、片側交互通行箇所で救急車待ちに時間が掛かり、待っている間に日が落ちてしまいましたので、慣れない方は特に早めを心掛けてお出かけください。

志太榛北地区担当特派員 増田昌江